

活用調査表

様式6

技術名	ハイパワーロックフェンス工法(HRF工法)	登録 No.
		18D1035

施工内容

工事名：離県災防1-3-2 主 佐渡一周線災害防除工事

施工数量：L=18.0m

工期：平成19年8月23日～平成20年3月15日

概要

この工事は、佐渡一周線の落石対策工事として計画され、支柱・緩衝金具の落石エネルギーの吸収効果の特徴とする、高エネルギー吸収型の落石防護柵を採択した。

特徴

1. 落石の規模により支柱・部材の種類を選択することが出来、経済的な計画が可能。
2. ワイヤロープに緩衝金具を取付けることにより、落石エネルギーの吸収量が飛躍的に向上。
3. 積雪地域においては、積雪荷重対応型の選定も可能。
4. 支柱設置方法は、斜面上に大口径ボーリングで建込む方式と重力式擁壁上(コンクリート基礎)に建て込む方式の2種類。
5. 景観に合った色彩の塗装が可能。

トライアル工事での評価結果

比較した従来技術：RSS工法(大規模落石防護柵)

項目	評価	評価内容
経済性	◎	控えアンカーの施工が不要になることにより、約34%の大幅なコスト削減が実現した。
工程	◎	控えアンカーの施工が不要になることにより、大幅な工期短縮が実現した。
品質	○	控えアンカーの施工が不要になることにより、品質・出来形とも管理すべき項目が減少した。
安全性	○	控えアンカーの施工が不要になることにより、安全管理すべき項目が減少した。
施工性	○	控えアンカーの施工が不要になることにより、本体工・仮設工とも内容が減少した。
環境	○	控えアンカーの施工が不要になることにより、準備工に伴う樹木伐採や穿孔によって生じる騒音が低減できた。

◎:優れている ○:やや優れている

□:従来技術と比べて同程度

△:やや劣っている ×:劣っている

新技術問い合わせ先

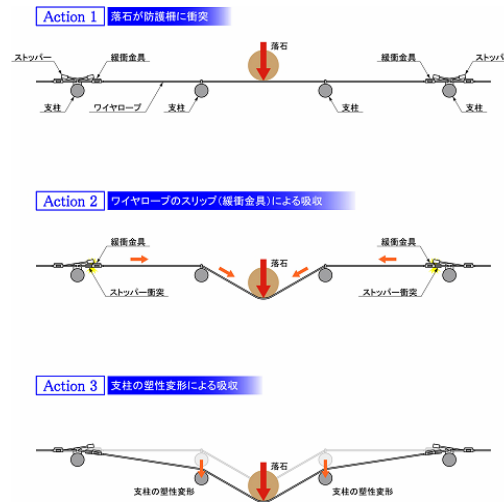
会社名：日本サミコン株式会社

所属部課:技術営業部

担当者：村田 佳久

TEL：025-286-5211

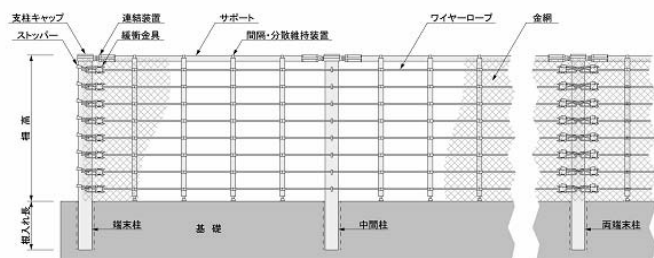
【緩衝機構】



～施工フローチャート～

1. 準備工
2. 資材搬入工
3. 支柱建込み調整工
4. 支柱建込工
5. 外周モルタル調整工
6. 足場組立工
7. サポート取付け工
8. ワイヤロープ取付け工
9. 分散維持装置取付け工
10. 金網取付工
11. 後片付け
12. 完了

概要図



設置完了